

薬学科							
開講学科	配当学年	授業科目	単位	実務経験を有する教員名	職位	実務経験	実務経験の活用等
薬学科・生命創薬科学科	1	物理化学Ⅰ	1.5	杉山 重夫	教授	企業(研究)	薬学の基礎として重要な部分の講義に活用
薬学科・生命創薬科学科	1	基礎生物学	1.5	紀 嘉浩	准教授	研究施設	科学研究における考え方、実情、知見などを講義に活用
薬学科・生命創薬科学科	1	健康運動演習	1	山田 俊二	准教授	体育施設	「幅広い年代における様々な運動との取り組み方」、「生涯にわたる適切な運動実践の必要性」など実務で培った経験・知識を「小学生の体力急進期」や「中高年者の健康づくり」のテーマの中で頻りに盛り込んでいる。
薬学科・生命創薬科学科	1	人間関係論	1	駒田 陽子	准教授	病院	病院や開発現場における薬剤師・薬学専門家の業務やチーム医療について、実務家としての経験を踏まえて学生にわかりやすく講義する。医療機関におけるリスク管理、患者の健康行動を促進するためのコミュニケーションについて、現在どのような取り組みが行われているか解説する。
				町田 いづみ	教授	病院	病院における患者や医療スタッフのメンタルケア等の経験を、講義・演習に多く盛り込み、活用している。
薬学科・生命創薬科学科	2	薬の科学実習Ⅲ	2	杉山 重夫	教授	企業(研究)	創薬の現場でも必要とされる物質の扱い方と解析の仕方の指導に活用
薬学科・生命創薬科学科	2	病態生理学	1.5	石橋 賢一	教授	病院(医師)	検査、診断、薬物治療の講義の背景知識として活用
薬学科・生命創薬科学科	3	製剤学	1.5	深水 啓朗	教授	企業(研究)	教科書に記載されている基礎的な事項が、実際の製品や臨床および製造の現場において、どのように活用されているか、経験談と実例を講義内容に盛り込んでいる。
薬学科・生命創薬科学科	3	物理薬剤学	1.5	深水 啓朗	教授	企業(研究)	教科書に記載されている基礎的な事項が、実際の製品や臨床および製造の現場において、どのように活用されているか、経験談と実例を講義内容に盛り込んでいる。
薬学科・生命創薬科学科	1~3	医療面接入門	1	町田 いづみ	教授	病院	病院における患者や医療スタッフのメンタルケア等の経験を、講義・演習に多く盛り込み、活用している。
薬学科・生命創薬科学科	1~3	心理学	1	駒田 陽子	准教授	研究施設	人の行動や心理に関して、これまでどのような研究が行われ説明されているのかを概説し、新たな課題にチャレンジする創造的精神を培う。
薬学科・生命創薬科学科	1~3	健康運動科学	1	山田 俊二	准教授	体育施設	「幅広い年代における様々な運動との取り組み方」、「生涯にわたる適切な運動実践の必要性」など実務で培った経験・知識を「小学生の体力急進期」や「中高年者の健康づくり」のテーマの中で頻りに盛り込んでいる。
薬学科	3	医薬品情報学	1.5	大野 恵子	教授	病院(薬剤師)	薬剤師としての実践経験を講義・演習内容に組み入れ、臨場感を意識した授業に活用
薬学科	3	総合化学系薬学	1.5	小林 健一	講師	企業(研究)	創薬研究についてを講義に盛り込んでいる。
薬学科	3	調剤学	1.5	山崎 紀子	教授	薬局(薬剤師)	経験を基に最新情報・技術を入手しながら講義に反映させている。
				松本 邦洋	講師	病院(薬剤師)	医療現場での経験を講義における背景知識として活用
薬学科	3	薬物治療学Ⅰ	1.5	石橋 賢一	教授	病院(医師)	検査、診断、薬物治療の講義の背景知識として活用
薬学科	3	薬物治療学Ⅱ	1.5	大野 恵子	教授	病院(薬剤師)	薬剤師としての実践経験を講義・演習内容に組み入れ、臨場感を意識した授業に活用
				鈴木 陽介	助教	病院(薬剤師)	臨床業務での薬物治療の実践経験を講義内容に織り交ぜ、臨床適応性を意識した授業に活用
薬学科	3	臨床薬学基礎実習	2	大野 恵子	教授	病院(薬剤師)	薬剤師としての実践経験を講義・演習内容に組み入れ、臨場感を意識した授業に活用
薬学科	3~4	医療コミュニケーション学・演習	1	町田 いづみ	教授	病院	病院における患者や医療スタッフのメンタルケア等の経験を、講義・演習に多く盛り込み、活用している。
薬学科	4	医薬品管理学	1.5	山崎 紀子	教授	薬局(薬剤師)	経験を基に最新情報・技術を入手しながら講義に反映させている。
薬学科	4	コミュニティファーマシー	1.5	山崎 紀子	教授	薬局(薬剤師)	経験を基に最新情報・技術を入手しながら講義に反映させている。
薬学科	4	事前実務実習	4	大野 恵子	教授	病院(薬剤師)	薬剤師としての実践経験を講義・演習内容に組み入れ、臨場感を意識した授業に活用
				山崎 紀子	教授	薬局(薬剤師)	経験を基に最新情報・技術を入手しながら講義に反映させている。
				松本 邦洋	講師	病院(薬剤師)	医療現場での経験を講義における背景知識として活用
				鈴木 陽介	助教	病院(薬剤師)	臨床業務での薬物治療の実践経験を講義内容に織り交ぜ、臨床適応性を意識した授業に活用
薬学科	4	症例解析演習Ⅰ	1	石橋 賢一	教授	病院(医師)	検査、診断、薬物治療の講義の背景知識として活用
				大野 恵子	教授	病院(薬剤師)	薬剤師としての実践経験を講義・演習内容に組み入れ、臨場感を意識した授業に活用
				鈴木 陽介	助教	病院(薬剤師)	臨床業務での薬物治療の実践経験を講義内容に織り交ぜ、臨床適応性を意識した授業に活用
薬学科	4	症例解析演習Ⅱ	1	大野 恵子	教授	病院(薬剤師)	薬剤師としての実践経験を講義・演習内容に組み入れ、臨場感を意識した授業に活用
				鈴木 陽介	助教	病院(薬剤師)	臨床業務での薬物治療の実践経験を講義内容に織り交ぜ、臨床適応性を意識した授業に活用
薬学科	5	病院実習	10	実習先の指導薬剤師	非常勤講師	病院(薬剤師)	調剤および製剤、服薬指導などの薬剤師業務に関する基本的知識、技能、態度を修得するための実習指導に活用
薬学科	5	薬局実習	10	実習先の指導薬剤師	非常勤講師	薬局(薬剤師)	保険調剤、医薬品などの供給・管理、情報提供、健康相談、医療機関や地域との関わりについての基本的知識、技能、態度を修得するための実習指導に活用
薬学科	6	セルフメディケーション	1.5	山崎 紀子	教授	薬局(薬剤師)	経験を基に最新情報・技術を入手しながら講義に反映させている。
薬学科・生命創薬科学科	6	臨床生理学	1.5	石橋 賢一	教授	病院(医師)	検査、診断、薬物治療の講義の背景知識として活用
			薬学科 合計単位数	57			

生命創薬科学科							
開講学科	配当学年	授業科目	単位	実務経験を有する教員名	職位	実務経験	実務経験の活用等
生命創薬科学科	1	薬の発見・発明	1	杉山 重夫	教授	企業(研究)	薬の発明(創薬)に関する内容のアクティブラーニングで活用
薬学科・生命創薬科学科	1	物理化学Ⅰ	1.5	杉山 重夫	教授	企業(研究)	薬学の基礎として重要な部分の講義に活用
薬学科・生命創薬科学科	1	基礎生物学	1.5	紀 嘉浩	准教授	研究施設	科学研究における考え方、実情、知見などを講義に活用
薬学科・生命創薬科学科	1	健康運動演習	1	山田 俊二	准教授	体育施設	「幅広い年代における様々な運動との取り組み方」、「生涯にわたる適切な運動実践の必要性」など実務で培った経験・知識を「小学生の体力急進期」や「中高年者の健康づくり」のテーマの中で頻りに盛り込んでいる。
薬学科・生命創薬科学科	1	人間関係論	1	駒田 陽子	准教授	病院	病院や開発現場における薬剤師・薬学専門家の業務やチーム医療について、実務家としての経験を踏まえて学生にわかりやすく講義する。医療機関におけるリスク管理、患者の健康行動を促進するためのコミュニケーションについて、現在どのような取り組みが行われているか解説する。
薬学科・生命創薬科学科	1	人間関係論		町田 いづみ	教授	病院	病院における患者や医療スタッフのメンタルケア等の経験を、講義・演習に多く盛り込み、活用している。
薬学科・生命創薬科学科	2	薬の科学実習Ⅲ	2	杉山 重夫	教授	企業(研究)	創薬の現場でも必要とされる物質の扱い方と解析の仕方の指導に活用
薬学科・生命創薬科学科	2	病態生理学	1.5	石橋 賢一	教授	病院(医師)	検査、診断、薬物治療の講義の背景知識として活用
薬学科・生命創薬科学科	3	製剤学	1.5	深水 啓朗	教授	企業(研究)	教科書に記載されている基礎的な事項が、実際の製品や臨床および製造の現場において、どのように活用されているか、経験談と実例を講義内容に盛り込んでいる。
薬学科・生命創薬科学科	3	物理薬剤学	1.5	深水 啓朗	教授	企業(研究)	教科書に記載されている基礎的な事項が、実際の製品や臨床および製造の現場において、どのように活用されているか、経験談と実例を講義内容に盛り込んでいる。
薬学科・生命創薬科学科	1~3	医療面接入門	1	町田 いづみ	教授	病院	病院における患者や医療スタッフのメンタルケア等の経験を、講義・演習に多く盛り込み、活用している。
薬学科・生命創薬科学科	1~3	心理学	1	駒田 陽子	准教授	研究施設	人の行動や心理に関して、これまでどのような研究が行われ説明されているのかを概説し、新たな課題にチャレンジする創造的精神を培う。
薬学科・生命創薬科学科	1~3	健康運動科学	1	山田 俊二	准教授	体育施設	「幅広い年代における様々な運動との取り組み方」、「生涯にわたる適切な運動実践の必要性」など実務で培った経験・知識を「小学生の体力急進期」や「中高年者の健康づくり」のテーマの中で頻りに盛り込んでいる。
生命創薬科学科	3	精密合成化学	1.5	小林 健一	講師	企業(研究)	創薬研究についてを講義に盛り込んでいる。
生命創薬科学科	3	創薬化学	1.5	杉山 重夫	教授	企業(研究)	実際の現場でも必要とされている医薬品開発の考え方や知識を講義で活用
生命創薬科学科	3	分子生物学Ⅱ	1.5	紀 嘉浩	准教授	研究施設	科学研究における考え方、実情、知見などを講義に活用
薬学科・生命創薬科学科	4	臨床生理学	1.5	石橋 賢一	教授	病院(医師)	検査、診断、薬物治療の講義の背景知識として活用
			生命創薬科学科 合計単位数	21.5			